

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン

国内子ども支援の現場から

全国8カ所の 民間シェルター等を助成

ワールド・ビジョン・ジャパンは2021年より、DVや虐待などの被害を受けた方が、安心して避難・生活できる民間シェルター等の運営を行う団体へ活動資金の助成を行っています。

2025年度に支援を開始した全国8カ所の民間シェルター等のモニタリングや活動報告書を通してお伝えいただいた、日々の支援活動の様子や支援者の思いを紹介します。



シェルターの様子



イベント(上)や一緒に遊ぶ様子(下)

民間シェルター等利用者の声

- ・5年ぶりに心から安心できる場所をもらい、ようやく前を向いて歩き出す勇気が持てました。
- ・安全に過ごせる場所を与えてくださったおかげで、ようやく恐怖から解放され、心身ともに回復へと向かうことができている。
- ・誰も信じられず、どうしたらいいかわからなかった時、シェルターのスタッフさんがわざわざ私を迎えにきてくれたんです。すぐに温かく受け入れてもらえたことで、ようやく「もう怯えなくていいんだ」と安心し、夜も眠れるようになりました。

新たな一歩を支える支援

「民間シェルター」とは、民間団体によって運営されている、DV等の暴力を受けた方が緊急一時的に避難できる施設です。被害にあわれた方へ、まずは安心して過ごせる住居を提供し、通院や行政手続きへの同行なども行いながら、自立のための様々なサポートに尽力されています。WVJの助成金は、シェルターやステップハウス（一時保護施設であるシェルターを出た後に利用する、中長期的な生活の場）の施設整備や、受入れ人数を増やすための資金として活用

されました。また地域の学校での出前授業や講演会などを通して理解を広げる活動などにも役立てられています。支援を受けている家庭の子どもたちに対しては、「子どもたちの権利と本来の力を守りたい」との思いから、学習支援や子ども食堂、お楽しみイベントの開催に取り組まれています。「WVJからの助成により、安全なセカンドライフへの第一歩を迅速にサポートすることができました」との感謝の言葉が助成先から寄せられています。

～スタッフからひとこと～

「行き場を無くしていた命を繋ぎ、安心安全な環境を提供できましたことを、重ねて御礼申し上げます」一助成先の支援団体からいただいた言葉です。WVJの助成金が、大切な命と権利を守る活動に役立てていただけていることを大変嬉しく思いました。同時に、支援が必要な方々一人ひとりの状況に応じて親身に寄り添い続ける、支援団体の皆さまの熱意とご尽力にも、あらためて深く敬意を抱きました。

私たちもそのような支援を届ける方の力になれるよう、そして子どもたちが笑顔を取り戻す一助になれるよう、活動を続けていきたいと思ひます。

(高橋・設楽・眞田)

